

# シリコンバレー生レポート

2017,2,22～2,28訪問

資料に関するお問合せは⇒[nishimura@biz-renovation.jp](mailto:nishimura@biz-renovation.jp)



株式会社ビジネスリノベーション  
代表取締役社長 西村佳隆

経済産業省認定  
経営革新支援機関

京都造形芸術大学  
マーケティング論  
非常勤講師



# (株)ビジネスリノベーション紹介

『面白いことを生み出す・仕掛ける』を増やす

変革のスパークプラグ



既存事業の再活性化  
新規事業立上げ  
それらのプロデュース

- ・企業内起業家20年 & 起業家支援10年の実績
- ・ビジネス×デザインの潮流→京都造形芸術大学非常勤講師
- ・イノベーション教育→横浜国立大学と21世紀型スキル関連のプロジェクト

# 訪問先

大企業のイノベーション・ラボ： SAP

スタートアップの巣窟： Plug & Play

日本から進出したスタートアップ： Chat Work

スタンフォード大学 『dスクール』

メディア： ISHIN USA

投資家： Fenox Venture Capital, Global Brain

古巣のヤマハ発動機

# グーグルカーの撤退報道

キーワードを入力

ニュース



pee\*\*\*\*\*

購読一覧



トップ

速報

写真

映像

雑誌

個人

ビジネス

特集

意識調査

ランキング

ビジネスストップ | 経済 | 企業 | グローバル | マーケット | キャリア | テクノロジー

## 自動車産業界に激震！グーグルが完全自動運転の開発を諦めたワケ

オートックワン 2016/12/14(水) 22:22配信



グーグルカー AUVSI「オートメ  
イテッド・ヴィークル・シンポジ  
ウム2016」での資料画像

まさか、グーグルがこのタイミングで自動運転の開発を止めるなんて…。

日本時間の2016年12月14日早朝、グーグルの親会社であるアルファベットからの公式発表があった後、自動車メーカーや、交通・経済に関する行政機関の関係者らは目を丸くして驚いた。

これまでの自動運転テスト車等写真でチェック (画像14枚)

アルファベットの発表によると、これまで自動運転の技術開発を行ってきた事業部を『Waymo』として子会社化。そして、FCA (フィアット・クライスラー・オート



### 注目のビジネスニュース

シャープ暴落、東芝急騰！ 日経平均は  
続伸 投稿1 4/11(火) 8:00



長時間労働の是正が大企業だけで終わ  
りかねない理由  
ダイヤモンド・オンライン 4/11(火)  
6:00



フィンテックで何が起こるか知ってい  
ますが 東洋経済オンライン 4/11(火)  
6:00



陰るトランプ相場 「7」で終わる年は





車中の1時間を  
誰が獲るのか！



# AI

## 日本

- ・AIで仕事が奪われる
- ・残るのは創造的な仕事

『どうしよう...』

## シリコンバレー

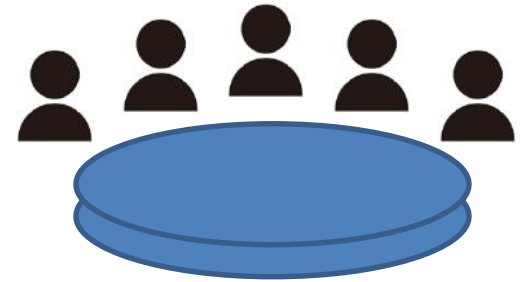
全てのビジネスにAIが  
入り込む  
⇒どう活用する？

『どう活用しようか！（ワクワク）』

# シリコンバレー概観

シリコンバレーは、日本の10年後の姿

# 今のシリコンバレー企業の基本戦略



○デザイン & プラットフォームに特化

○エコシステム※のいいトコ取り

※経済的な協調関係、または強者を頂点とする新たな成長分野でのピラミッド型の産業構造といった、企業間の連携関係全体を表すのに用いられる用語



# シリコンバレー5つの競争力の源泉

1. お金： 世界のV.C.投資の半分がアメリカに  
その半分がS.V.に
2. 人： 世界中から集まる、優秀な人材
3. 大企業がスタートアップを買う文化
4. 産学官の連携
5. スタートアップ・カルチャー

+ やってしてから『ごめんなさい』文化  
By 西村の所感

# 日本企業がシリコンバレーで立ち上がるには...

○2～5億円は失う覚悟で

○トップが直接乗り込むコミット

↑日本にお伺い立てる進め方は相手にされない

○『何をしたらいいかな?』⇒『どうやったらいいの?』

○普通の日本人には、無理かな...

『  だから、勝てっこない』

# 日本人の存在感

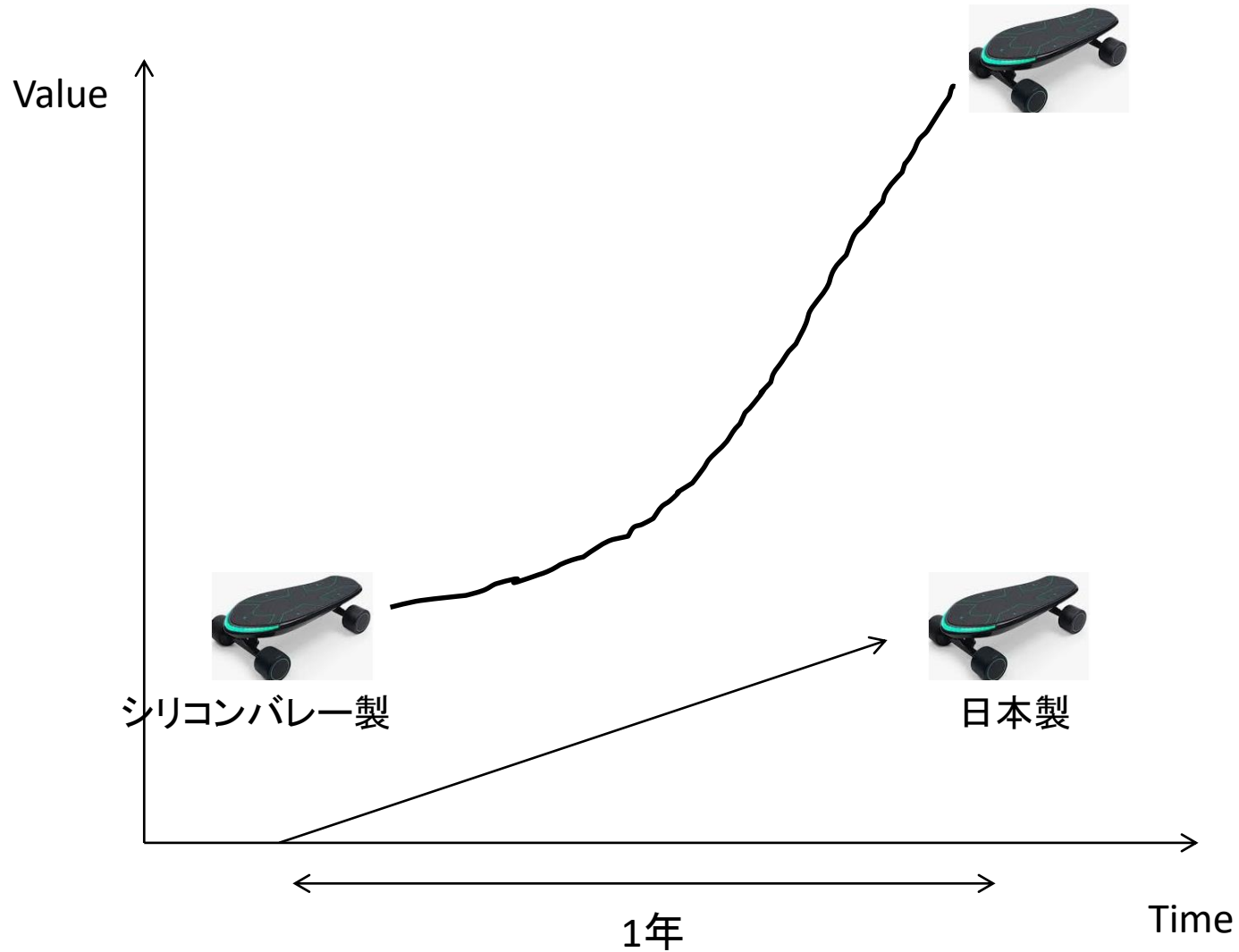
SAPイノベーション・ラボ 4,000人のうち...

インド人 1,000人

中国人 500人

日本人 人

# オープンイノベーションの威力



# スマホの次は何？



INTRODUCING  
**amazon echo**

Always ready, connected,  
and fast. **Just ask.**

イノベーション より リノベーション

# スタンフォード大学 d スクール







# 1/100!







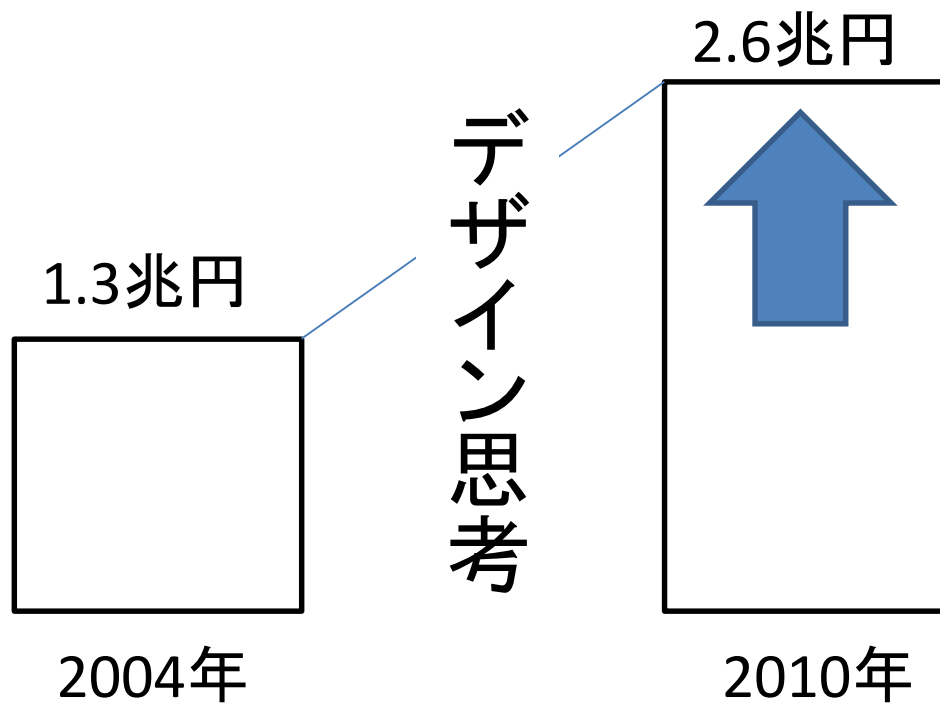
プロトタイプ: 素早く不完全なものを作る

### 3つのメリット

1. 素早いフィードバックが得られて、短時間で質が向上する
2. あっさり捨てられて、固執しないで済む
3. 聞かれた側の創造力を刺激する⇒思いもしない反応が宝

# By SAP





スタンフォード大学 d スクール

Hasso Plattner Institute of Design  
at Stanford



SAP創業者

30億円

# SAPのイノベーションの3P



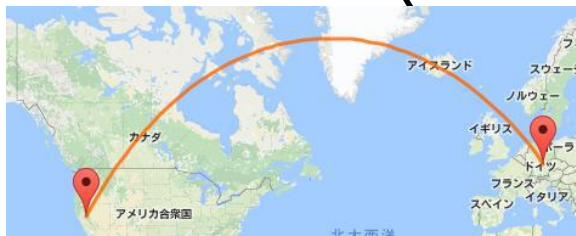
スタンフォード大 D スクール  
Hana Haus

People  
社内外の  
“異質”  
を混ぜる

<http://www.hanahaus.com/>

Place  
“城下町”から  
離れる

1万km



Process  
共通言語  
フレームワーク

2  
::  
6  
::  
2

# Hana Haus

パロアルトにあるSAPのカフェ



WORKSPACE



PUBLIC CAFE



EVENTS

スタートアップ支援、SAPと異邦人との交流の場

<http://www.hanahaus.com/>

# SAPが狙っていること

~~新規事業を立ち上げる  
既存事業とのシナジー~~

新規事業で  を変える



# 新規事業のKPI



の数

# イノベーションが起きるときのシグナル

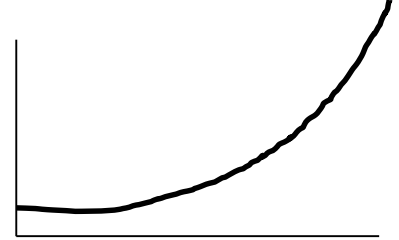
『そんなものは、ただのおもちゃだ！』

『くだらない．．．』

『常識では、ありえない！』

By ベンチャーキャピタル

# ベンチャーキャピタルの注目キーワード



▪ IoT再び

V.C.以外でも言ってる

▪ AI

▪ Mobility

▪ Next Gen. Computing

シリコンは限界。DNAに書き込めない？

▪ Geospatial Data

人工衛星がどんどん安く、  
産業用ドローン盛り上がり

⇒ 建設現場の撮影、農地の生育観察

▪ Computer Vision

コンピュータによる画像解析  
⇒ 自動運転とセット)

▪ Connectivity

5G通信

▪ Synthetic Biology

生まれる前にDNAを書き換え  
過去の高品質ワインの再現

▪ Drug Discovery&Diagnostics

新薬はAIシミュレーションで発見

By 古巣のヤマハ発動機

テクノロジー > IT & 経営 > 新風 Silicon Valley(日経産業新聞) > 記事

新風 Silicon Valley(日経産業新聞)

+ フォローする

## 米西海岸の新興企業にも量産化の壁 日本の出番 西城洋志(ヤマハ・モーター・ベンチャーズ・アンド・ラボラトリー・シリコンバレーCEO)

2017/2/28付

   @保存 印刷 その他▼

「ソフトウェアが世界を食べ尽くす」。これは数年前にある著名投資家が今の産業の破壊的变化を示した言葉だ。多くの破壊的創造を行うスタートアップはソフトウェアプレーヤーであり、ハードウェアに競争優位を求めていない。

一方、すべてのモノをネットにつなぐ「IoT」やロボティクスなど、ソフトウェアに価値のコアはあるものの、実際のビジネスにおいてはハードウェアが重要な役割を担っている技術やビジネスがシリコンバレーでのトレンドになっている。したがって、私は前述の「ソフトウェアが世界を食べ尽くす」を肯定しながらも、「ハードウェアが(ソフトウェアが次に食べる)世界を創り出す」と考えている。それはハードウェアがあることで価値創出の為に真に重要なデータを取得して、ソフトウェアの活躍の場を広げるからである。

このハードウェアにおいて、シリコンバレーの投資家たちを悩ませる課題がある。それは「試作まではやれるが、量産化で大きな失敗をする会社が多い」ことだ。

事業の段階は(1)アイデア・コンセプト(2)プロトタイプ・事業検証(3)パイロット運用(4)実運用・スケール——と大まかに分けられる。(1)で



ヤマハ発動機で表面実装技術やロボット事業のソフトウェア開発などに従事。2015年7月にヤマハ・モーター・ベンチャーズ・アンド・ラボラトリー・シリコンバレーを設立、ベンチャー投資を含めた新事業開発に取り組む。

## 日本の出番！

ハードウェアにおいて、シリコンバレーの投資家たちを悩ませる課題がある。それは「試作まではやれるが、量産化で大きな失敗をする会社が多い」



なぜか。それは量産における生産技術や工程設計、品質管理、製造のための設計を甘く見ている点が大きいと感じている。彼らの間には、製造は非常に自動化・標準化が進んでいて「頼めばできる」と考えている風潮がある。

**日本の製造技術の出番！**

**日本の商品企画の出番！**